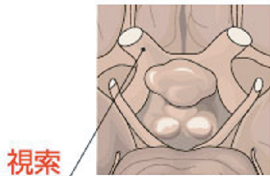


「 脳 単 」 正 誤 表 ①

この度は「脳単」をお買いあげ下さり誠に有り難うございます。
 以下、不具合な箇所が見つかりましたので、訂正しお詫び申し上げます。
 お手数ですがお手持ちの本に書き込んでお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

初版第1刷

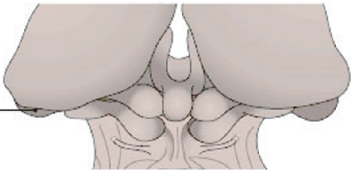
箇所	誤	正
p.4 コラム 9 行目	telephone	telephone
p.6 B-2のコメント	一時	一次
p.13 C-33のコメント	脊髓神経神経節	脊髓神経節
P.15 ヘッダー3行目	rateral	lateral
p.16 D-19のコメント	後核	後角
p.21 E-32のコメント	内側隆起ともいう。顔面神経膝によって生じるふくらみ。	内側隆起（正中溝と境界溝の間）の特に顔面神経膝のために隆起している部分を指す。
p.21 下図	外転神経	外転神経核
p.25 F-35のコメント	上丘	下丘
p.25 図タイトル 下から2番目	水平断 橋②	水平断 橋①
p.33 ヘッダー 3 行目	嗅索経	嗅神経
p.34 本文14行目	solitary ソウル「単独の」	sole ソウル「単独の」
p.38 コラム文末	…されて	…されている。
p.40 間脳上面の タイトル下	第三脳室脈絡層	第三脳室脈絡叢
p.44 K-13 視索の 矢印の位置		
p.45 前頭断④図	被核	被殻
p.48 L-13の下から1行目	殻核	被殻
p.49 左上の図、 L-25のコメント	被核	被殻
p.50 下から7行目、 p.51 L-17	Mynert	Meynert
p.70 Q-15 コメント	大大脳動脈	大大脳静脈
p.80 S-10コメント中	錘体細胞	杆体細胞
p.81 聴覚路の説明文 4 行目	外側毛体	外側毛帯
p.84 T-4のコメント	結膜、上眼瞼、…	眼窩上孔を通り、 結膜、上眼瞼、…

つづく↓

「 脳 単 」 正 誤 表 ②

この度は「脳単」をお買いあげ下さり誠に有り難うございます。
以下、訂正箇所等が見つかりましたので、訂正しお詫び申し上げます。
お手数ですがお手持ちの本に書き込んでお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

初版第1刷つづき

箇所	誤	正
p.84 T-15のコメント	眼窩下溝	眼窩下孔
p.84 一番下の図タイトル	眼神経・側面図	上顎神経・側面図
p.85 T-21コメント	前・中・後上歯神経	前・中・後上歯槽神経
p.85 T-29 ルビ	かししんけそう	かししんけいそう
p.85 下図	顎舌骨神経	顎舌骨筋神経
p.86 本文17行目	チン氏体	チン氏帯
p.102 コラム下から6行目	plaxus	plexus
p.103 下から4行目	conta	costa
p.114 app-8コメント	中枢では	末梢神経では
p.114 app-13 コメント	細いもの	中間径のもの (10nmフィラメントは 中間径フィラメントという)
p.116 下から12行目	有髄線維	無髄線維
P.119 app-54 コメント1行目	顆粒層の中に散在して いる。	細胞体は分子層の中に 散在し、軸索は顆粒層に 広がる。
p.120 app-45ルビ	エクスターナル	インターナル
p.130 下から3行目	線状体	線条体
p.134 Y-23	前拳筋	前鋸筋
p.134 Y-27 4行目	上肩甲下神経	下肩甲下神経
p.134 Y-12	橈骨手根屈筋	橈側手根屈筋
p.140 手綱の指して いる矢印の箇所		
誤 手綱  正 手綱 